

## 監督 インタビュー



ランコ ポポヴィッチ監督  
RANKO POPOVIC

プロフィールは  
こちらをクリック!

--前節の徳島戦は悔しい結果でしたが、今後に繋がるポジティブな点はどんなことですか。  
「前半に関しては明らかに相手もうまくいいていませんでしたし、彼らが今まで戦ってきたものを出せていなかった試合だったと思います。逆に我々にとっては、準備してきたことをしっかりとできた前半だったと思うので、90分を通してあのままの状況で戦っていればどうなったか。それを見ることができなかったのが残念です。前半に関しては戦術的には成熟した、成長した部分をお見せできたと思います。クレバーな戦い方を見ることができた前半でした。相手に作られたチャンスは個の対応でのミスや個の力で上回られることはありましたが、チームとして戦術的な部分を披露できました。彼らが狙っているところを消しながら、前の選択肢を制限できていま

した。また相手がこちらの陣地に入った時に、選択肢がない状況をうまく作り出せていたと思います。ただ我々の前半の課題は、ボールを奪った時に良さを出せなかったこと。慌ててしまうことで技術的なミスや判断のミスがありました。そういった部分は修正すべき点です」

--勝つためにはゴールが必要で、点を取るために強調したいことは？

「ゴールに行くまでのパスの精度にもこだわらないと、精度が良ければゴールに近づいていけます。またゴール前の冷静さや集中力が必要です。ゴールを取ることに頭が行き過ぎると、得てしまいうまくいかないことが多いです。ナチュラルに自然体で今まで賢くやってきたことをやり切るということ、ゴール前での冷静さや集中力をより高く維持することが大事になると思います」

--シーズンも残り6試合。巻き返してシーズンを終えるために必要なことは？

「フィジカルの部分は問題がないので、メンタルの部分でより強い気持ちを持って、自信を失わずによりエネルギーに戦うことができずごく大事です。小田逸稀、吉尾海

夏、高江麗央、佐野海舟といった若手選手は、J2のシーズンをコンスタントに戦った経験がないわけですから、プレーに波があったりするのは起こり得ることだと思っています。そういった中でこれだけの試合数をこなしてきたので、いっぱいいっぱいになることは起こり得ることですが、頭をクリアにして、気持ちを整理して、メンタルを整えて、いろいろなことを吸収するスペースを作って、前に進んでいく必要があります」

--群馬の印象を聞かせて下さい。

「出ている結果よりも実際の試合内容は良いと言う印象を持っていて、我々と似たような部分があると思います。常にどこが相手であっても、内容は互角、あるいは負けたとしても、それ以上のものを出しているチームだと感じています。彼らのサッカーに嵌ってしまうと、どのチームも大差で負ける可能性があるぐらい良いチームだと思っています」

--ファン・サポーターの皆様へメッセージをお願い致します。

「シーズンの良い締め括りをするためには皆さんの熱いサポートが必要です。ぜひスタジアムに足を運んでください。よろしくお願ひ致します」



# CLUB Information

クラブインフォメーション

来場者  
限定

## 選手からの 直筆メッセージフォト!

試合当日のスタジアム内に掲載されているQRコードを読み込むと、その日限定の選手直筆メッセージ付きフォトがダウンロードできます!! 誰が登場するかはお楽しみに!

※アウェイ席を除く



※座席表のQRコードからはアクセスできませんのでご注意ください。

※ご来場いただいた方への限定コンテンツとなります。ダウンロードURL等の展開はご遠慮くださいますようお願いいたします。

